

## 秋を迎えて

茗溪塾塾長 長谷誠基

9月に入り、朝晩がだいぶ過ごしやすくなってきました。8月16日からは非常に暑い中で夏期短期集中特訓が開催され、多くの生徒に参加して頂きました。本当にありがとうございます。その中の一部の声をご紹介したいと思います。

「もう一つ思っていたことと違っていたものは、イベントです。私は、イベントのことを勉強をさらにやらされるものだと思っていましたが、不得意特訓サバイバル、テーブルマッチ、理社のテストなどを通して、やらされるのではなく自分から取り組むことが出来ました。私は今まで、自分から勉強することができていませんでしたが、今回の特訓で自分から勉強に取り組むことができ、自分の中で大きく進歩できたと思いました。」

「一番成長したと思うのは、朝のテストのときだった。前日に間違えたところや、聞いた解説を思い出して埋めていくとき、昨日の自分より少し成長した実感がもてた。その学んだことを活かすということが、この先大切になってくると思う。そして、今まで分からないままにしていた問題を再び考える機会になった。」

「一番自分の力になったのは『数学不得意特訓サバイバル』です。自分が苦手な場所が分かり、先生に詳しく教えてもらいました。自分が今まで、ゴチャゴチャしていたところや、半信半疑だったところが分かるようになりました。」

このように夏期講習・集中特訓と学習を積んで9月に入ると、志望校別特訓や過去問ルームなどの志望校に向けての学習が本格的にスタートします。また、模擬試験も毎月受けていくようになります。夏あれだけ頑張ったんだから、成績もかなり上がっているのではないかと受けてみると、思っていたよりも点数が取れないということが良くあります。実は夏に頑張った成果はすぐには出ないものなのです。受験生の夏は今までに学習したすべての単元をもう一度学びなおすものなので、非常に多くの単元をやったこととなります。しかし、学習したものはまだ頭の中で整理されずに入ったままになっています。これを整理する学習をやらないと、また忘れていってしまったり、覚えていたものがなかなか引き出せないということになります。そこで、9月からの学習には必ず夏に学習したものをもう一度解きなおす時間を作っていくことが重要です。学習のスケジュールを作るときに、1週間に1回か2回時間をとってみてください。あまり長い時間でなくても大丈夫です。これを苦手な教科から少しずつ初めてみてください。徐々に成果が表れてきます。頑張った夏をより生かすためにも夏を整理する時間を設定してみましょう。